

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 053	提案機関名 農業技術センター足柄地区事務所
<b>要望問題名</b> 二番茶以降の茶を用いた加工用抹茶の栽培・製造について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 緑茶の需要は低迷しているが、唯一緑茶カテゴリーの中で加工用抹茶は需要増加傾向にある。先般、福岡県より既存の荒茶製造ラインを使った加工用粉末茶がてん茶炉で製造した加工用抹茶と同等の色彩を可能にしたとの発表があったが、生産において、被覆資材の検討、長期被覆による茶樹への影響並びに樹勢回復方法について研究願いたい。 併せて製造については、福岡県の成果をベースに、よりてん茶に近くなるような製造法及び既存機械の改良を研究願いたい。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業技術センター	<b>担当部所</b>	北相地区事務所
<b>対応区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b>	(①、②、④の場合) 長期被覆における茶樹体への影響について		
<b>対応の内容等</b>	食品原料用粉末茶については、足柄茶において今後需要があるようですので、研究の重要性を認識しておりますが、製品の製造については現地対応にて実施いたします。 長期被覆では、期間中の高温条件や遮光による樹勢低下から、次茶期あるいは翌年一番茶への収量低下への影響が考えられますので、茶園管理における試験研究課題として取り上げ、本県における被覆資材の検討、長期被覆による茶樹への影響および樹勢回復方法の検討として実施します。		
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
<b>備考</b>			